

平成 28 年度予算を可決

総務 建設

3月議会では、一般会計（199億7,000万円）、国民健康保険・介護保険などの特別会計、上下水道・病院などの企業会計を含む、総額455億5,780万4,000円の平成28年度予算案が提案されました。

総務委員会と建設経済厚生委員会において、3日間にわたり審議を行い、原案のとおり可決しています。その主な審議内容は以下のとおりです。

一般会計

地方交付税

問 国勢調査結果による地方交付税への影響について。

答 5年間で人口が約3,600人減少したことを受け、試算では約2億3,000万円減となる見込みです。

交付税は国勢調査を基準に5年ごとに算定され、今後5年間影響を受けることとなりますが、人口の減っている自治体への支援策として、平成27年度より新たに「人口減少特別対策費」が創設され、本年度より約2億円あまり需要額が増えており、トータルでは、減少分がそのまま大きな影響を及ぼすものではありません。

住宅整備

問 空き家改修事業補助金の活用状況について。

答 築25年以上の空き家に対して、市内業者を利用して水回りなどを20万円以上改修した場合に、改修費の2分の1（上限50万円）を補助しており、平成27年度の実績は1件となっています。

要望 地域に帰ってきていただいたり、空き家に住んでいただくのは大事だが、制度を熟知していないと活用しづらい面がある。諸制度の情報をまとめてお伝えできるような窓口を作っていただきたい。

問 北条高校前地区の住宅分譲地整備について。

答 まず、加西市が地区計画制度を活用して規制を緩和し、公募による民間事業者が自治会から土地を取得します。その後、道路・公園の整備と宅地造成を行い、約20戸を分譲する計画です。

問 西高室地区の宅地分譲予定について。

答 平成28年夏ごろに募集要項を作成し、秋ごろから分譲を開始します。その後、来年1月から住宅の建設開始を予定しており、現在、区画整理組合で協議しているところです。

環境

問 ごみ処理の広域化は、小野クリーンセンターの長期修繕計画の終期（平成30年度）までにまとまるのか。

答 4市1町の枠組みで検討していきますが、西脇市が平成28年3月に使用期限を迎える施設について地元調整をしており、その結果を受けて、5月から協議を再開することになっています。



播磨国風土記

問 玉丘史跡公園で実施される薪能について、雨天時には中止されるとのことだが、天候に左右される条件のもとで前売り券を販売するのではなく、あらかじめ屋根のある安定した施設での開催は検討しないのか。

答 雨天時の対応は最も悩ましいところであり、市民会館が使用可能であれば、1,000席での実施も考えられましたが、今年は改修工事のため使用できません。また、健康福祉会館は座席数がわずか450席で、あまりに一部の方のイベントになってしまう恐れがあります。そのため、今年は屋外での開催としています。

次年度以降は市民会館での実施も検討しています。その場合は、既設の舞台・音響・照明の利用に加えて、シャトルバス等のコストも抑えた形で実現できるため、事業を長く続けるための一つの案として検討しているところです。

要望 マスコミにしっかりと取り上げていただけるよう、PRに努めていただきたい。



産業振興

問 共通商品券事業について。

答 平成27年度は20%プレミアムでしたが、平成28年度は5%で予算計上しており、今後、商工会議所と協議して決定します。